



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報



第733回 平成14年 3月20日(水)

〔本日のプログラム〕

2001~2002年度 国際ロータリーのテーマ

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ローターソング | |
| | 「それでこそローター」 |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 点 | 鐘 |

- 次回予告
- ★ 3月27日(水)
 クラブフォーラム
 場所 久峰運動公園

 - ★ 4月7日(日)
 4RC合同観桜例会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日 (12:30~13:30)	会長	吉田康一郎
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	宮原 建樹
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17	幹事	岩下 廣美
	☎880-0212	会計	垂水 敏雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

第732回例会記録

(2002. 3. 13)

☆会長の時間

会長 吉田康一郎 君

皆様今晚は。今日は第732回の例会でございます。

気候も何とかポカポカとして春らしい安定した日が続いております。

こんな日が続きますとジッとしておれないような気がします。皆様は如何ですか？

さて、10日(日)宮崎RCの主催で行われました、インターシティミーティングに参加された会員の皆様、大変ご苦労さまでございました。

基調講演の渡辺綱纒氏の講演内容がとても素晴らしく感銘を受けましたので、感想を申し上げたいと思います。

演題は「ロータリー、その美しき思い出」で、会場の隅々迄聞こえる、はっきりと分かり易い大きな声、そして話の継ぎはぎの旨さ、聞き手を話し手の中に引っ張り込んで行く旨さ、人をここまで魅了する話に感心したのは私一人だけでは無かったと思います。

氏は宮崎交通に昭和28年入社との事で、当時の社長、故岩切章太郎氏との出会いのエピソード、苦労話、等も聞きました。今日の観光宮崎を作られた、故岩切章太郎氏の偉大さは既に周知ですが、話を聞いて改めてその感を抱いた次第でした。

入社同期は6名で、岩切社長も当時は色々苦労をされたとの事、開業当時は僅か4台のバスで、その中の1台が本町橋から川の中へ転落して死者を出す事故を起こし、大変悩んでおられたこともあっ

たとの由、その時、「岩切さん、心配するな、工夫せよ」と声をかけられて、それから、岩切氏も何とかふっきたとの事。その後、観光開発等に情熱をそそがれたそうでございます。

このお話を聞いて、私も何か仕事に行き詰まりを感じたら、工夫して先を見据えて行きたいものだと思います。

私は第1分科会 テーマ『どうしたら増える！ロータリーの仲間』に出席したのですが、次から次に活発な意見交換があり、当クラブからは会員増強委員長の藤堂孝一会員が素晴らしい意見を応答して頂きました。有り難う御座いました。第2分科会 テーマ『地域社会は今、ロータリアンをどう見ているか』でしたがどちらも意義ある分科会だったと思います。

12:55分から、マジックショーを観ながら昼食をしましたが、最後まで観ている人が少なく、主催者の宮崎RCの方々が寂しそうで気の毒な気が致しました。

何の行事でもいつでも主催者側は一生懸命です。

やっている人の気持ちになり、協力をして行ければ…と私を含めて色々反省しながらの帰途でした。

☆幹事報告

幹事 岩下廣美 君

1. 例会変更通知

①4月4日(木)の例会は合同観桜例会のため、

時間 19:00~

場所 サンビヤ都城

に変更

都城中央RC

②4月3日(水)の例会は合同例会の
為、期日 4月2日(火)
場所 ガーデンズ 小林 〱 に変更
小林 RC

ガバナー月信3月号の表紙を見ますと
去年の桜なのでしょうが、とても綺麗で
す。当クラブが寄贈した久峰公園の桜も
咲くと綺麗なのではないでしょうか。
27日(水)の例会は久峰公園ですので、
とても楽しみにしております。

☆出席報告

委員長 太田 忍 君

会 員 数	29名
例 会 出 席 者	19名
出 席 率	66%
メークアップ者数	3名
修 正 出 席 率	76%
欠 席 者 名	林、池田、郡司、赤木、魁塚

☆新世代委員会

委員長 恒吉正志君

いよいよ新世代フォーラムが今週の土
曜日になりました。

何回かの打合せを致しましたが、昨年
の失敗の轍を踏まないためにも皆様ロ
ータリアンのご協力を是非お願いしたいと
思います。

市内クラブはそれぞれ50名、郡部の各
ロータリーは30名出席との事でありまし
た。

新世代フォーラム出席者氏名
林 厚雄君 梶田與之助君
吉田康一郎君 岩下 廣美君
恒吉 正志君 垂水 敏雄君
藤堂 孝一君 柳田 光寛君
濱田松太郎君 正岡 文郁君
後藤 明夫君 太田 忍君
中武 幹雄君 佐藤 高元君
米澤 直人君

計 15名

☆会計報告

会計 垂水敏雄君

ハッピーボックス累計報告
¥68,605



Happy Voice

人生70、古来稀なりといわれています
が、古希を迎えて、人生に大いに感謝し
ています。老化はとどめ様もなくやっ
てまいりますが、それに少々逆らっ
て、今しばらく、より若く生きようと努力し
ています。誕生のお祝い誠に有難うござ
いました。 山脇 忍

ありがとうございました。

妻と1日違いの誕生日で、私はとう
とう50の大台に乗りました。前立腺肥大に
ならないようガンバります。

宮原建樹

有り難う御座いました。

これからもよろしくお願い致します。

宮原洋子



☆会員卓話

正岡文郁君

臨済宗の禅堂生活について No.1

モリナガソウコウロウシ

元花園大学学長の盛永宗興老師は、「禅僧は枯淡でシンプルでなければならない」と云っておられる。私もそう思うのでそうなる為の禅堂生活について紹介してみたいと思います。

◎初行脚一志を立てて郷関を出ず

今春学窓を巣立って、僧堂修行の大決意を固めた(a)寺の弟子(b)という好青年の体験を主題として、禅堂生活の実際を紹介することにします。

一人前の禅僧になろうとする禅寺の山僧は僧堂の修行という実習過程を絶対無視するわけにはいかない。

自らの実参実究なくして禅の根源的体得はありえません。体験の伴なわぬ口耳の学で真に自分や人が救えるとは思えません。されば宗門の掟は大学卒といえどもこの過程を経ぬかぎり、住職資格も認めません。

彼は禅に生きて人々の生活を幸福なものに設計指導する仏弟子の使命を痛感、まず宗旨蘊奥を究めることにしました。

四月のある朝、師匠の萬端の指図で古来からの雲水独特の旅装をととのえた。紺木綿の衣に白脚絆、首に頭陀袋、太紐で振り分けにしました。

袈裟文庫（内に麻袈裟、日用品、外に持鉢、経本、剃髪用具をくくりつける）を前側に、雨合羽、白衣の風呂敷包みを後づけにしてひっかつぎ、網代笠を携えて

一同に見送られつつ落花の郷里を出発しました。

まさに決意に燃えた新人生の門出であります。

(No.2以降は又の機会に掲載します)

お彼岸

ロータリーの友より

彼岸とは梵語でパーラミター（彼岸より此岸へ至る）、悟りの世界へ渡ることをいう。暦の上では春分、秋分の日を挟んだ前後七日間で、この一週間は仏教徒にとっては仏道修業週間といわれる。悟りの世界に渡るには六つの実践徳目がある。

- ①布施行 布施とは自分の持っている財や心を広く施すこと。
- ②持戒行 日々の暮らしの中で道徳を守り、他人に迷惑をかけないこと。
- ③忍辱行 ささいなことで腹を立てないこと、苦しみに耐えること。
- ④精進行 努力を惜しまない。単なる努力ではなく、正しい努力で全力を挙げて事に当たること。
- ⑤禅定行 心を静かに持ち、反省をわすれないこと。
- ⑥智慧行 物事を正しく見据える智慧、なんの曇りもなく正しい判断力を持つこと。

大阪城南RC 岡部 泰鑑